

民生常任委員会所管事務調査報告書

西宮市議会議長 大石 伸雄 様

令和元年10月8日
(2019年)

民生常任委員会

委員長	川 村 よしと
副委員長	まつお 正 秀
委 員	江 良 健太郎
〃	大川原 成 彦
〃	かみたに ゆみ
〃	河 崎 はじめ
〃	松 田 茂
〃	八 木 米太郎
随行職員	池 田 祐 子

民生常任委員会管内視察について、次のとおり報告いたします。

1 調査先及び調査事項

西宮市食肉センター

- ・大動物、小動物の屠畜解体について

東部総合処理センター

- ・ごみ処理について

2 調査日時

令和元年 8 月 28 日(水)

3 調査先対応者

(産業文化局)

参与兼食肉センター管理課長	長谷川 賢 司
食肉センター管理課係長	山 本 泰 教

(環境局)

環境施設部長	野 田 敏 彦
施設管理課長	鳥 羽 孝 浩
施設管理課係長	森 本 雅 樹
施設管理課主査	永 田 康 平

4 用務経過等

午前 9 時 20 分頃、西宮市食肉センターに到着。

センター内にて着替えをした後、大動物の屠畜解体については写真を参考にしながら説明を受け、小動物の屠畜解体については実際に現場を見ながら説明を受ける。委員長がお礼の挨拶をして視察を終了。

午前 11 時頃、東部総合処理センターに到着。

映像で東部総合処理センターの概要の説明を受けた後に、センター内を順路に沿って約 30 分見学。その後、質疑応答を行い委員長がお礼の挨拶をして視察を終了。

(正午頃視察終了)

5 視察の目的・概要等

○視察の目的

・西宮市食肉センターについて

今年度の施策研究テーマが「食肉センターの課題と展望について」に決定したことを受けて、管外視察に臨む前に、西宮市の現状を正確に把握すると共に、委員全体で食肉センターについての知識の水準を揃えるために、管内視察を行った。

同センターは、大正6年に村営の「屠畜場」として開業し、昭和8年の合併で西宮市営となった。その後、昭和39年に「西宮市食肉センター」として名称変更、昭和63年に西宮浜に新設移転し、現在に至っている。

運営そのものは民間企業が行っているものの、毎年億単位の市税が投入されており、その社会的な役割や経済効果など、様々な観点から改めて課題を精査する必要があると考えられる。その上で、経営のあり方等をより良いものにするための方法や今後の展望を模索していく予定である。

・東部総合処理センターについて

今年度の施策研究テーマが「ごみの減量化について」に決定したことを受けて、管外視察に臨む前に、西宮市の現状を正確に把握すると共に、委員全体で西宮市のごみ処理についての知識の水準を揃えるために、管内視察を行った。

西宮市は、今年の3月に「西宮市一般廃棄物処理基本計画」を策定したところだが、掲げた目標を達成するためには様々な課題があると考えられる。

その課題を①総量の縮減、②処理、③収集の3点に分けて整理し、提言としてまとめていく方向性で研究を進めていく予定である。

以上

■ 視察風景（西宮市食肉センター）



■ 視察風景（東部総合処理センター）

